

Prosthodontic Meeting for Next Generation 2024

in 熱海

プログラム ・ 抄録集

令和 6 年 3 月 29 日(金), 30 日(土)

KKR ホテル熱海

主 催 公益社団法人日本補綴歯科学会

大会事務 日本補綴歯科学会特命委員会Ⅱ

大会事務局 鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座内

Mail:dept-cr-br@tsurumi-u.ac.jp

目次

スケジュール	2
プログラム	3
会場	5
ご案内	10
抄録（特別講演）	12
抄録（口演発表）	14

スケジュール

3月29日（金）		
会場	3階「ラヴィ」	2階「春日」
7:00		
8:00		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
	受付	
14:00	開会式	
	特別講演 1 （吉田靖弘先生）	
15:00		
	アイスブレーキング	
16:00	口演発表	
17:00		
	特別講演 2 （窪木拓男先生） （大久保力廣先生） （二川浩樹先生）	
18:00		
19:00		
20:00		情報交換会 （夕食）
21:00		

3月30日（土）			
会場	3階「ラヴィ」	2階「春日」	屋外
7:00			
8:00		朝食	
			記念撮影
9:00			
	特別講演 3 (加藤秀夫先生)		
10:00			
	グループ討論		
11:00			
	発表会・ 全体討論		
12:00	閉会式		
13:00			
14:00			
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			
21:00			

プログラム

【1日目(3/29 金)】

13:30-14:00	受付	3階「ラヴィ」横
14:00-14:15	開会式 挨拶：窪木拓男(理事長) 小川 匠(特命委員会委員長) 事務連絡	3階「ラヴィ」
14:15-15:15	特別講演1 『思い込みを捨てよう！若手研究者と創造する未来歯科医療』 座長：高津匡樹(奥羽大学) 講師：吉田靖弘(北海道大学)	3階「ラヴィ」
15:15-15:40	アイスブレーキング(自己紹介)	
15:50-	口演発表 座長：発表大学の教授もしくは特命委員会の先生	3階「ラヴィ」
17:20-18:20	特別講演2 失敗から学ぶ 座長：小川 匠(特命委員会) 『留学のすすめ』 講師：窪木拓男(岡山大学) 『自らの驕りと怠惰が招いた大失敗症例』 講師：大久保力廣(鶴見大学) 『産学連携の苦労話』 講師：二川浩樹(広島大学)	
19:00-21:00	情報交換会(夕食)	2階「春日」

【2日目(3/30 土)】

7:30－ 8:30	朝食	2階「春日」
8:40－	写真撮影	3階「ラヴィ」
9:00－10:00	特別講演3 『いつ食べる 何を食べるか 食を知る』 座長:二川浩樹(広島大学) 講師:加藤秀夫(県立広島大学)	3階「ラヴィ」
10:20－11:50	グループ討論・発表会(学術委員会) 『今後の日本補綴歯科学会のあり方について』 座長:窪木拓男(理事長) 小川 匠(特命委員会)	3階「ラヴィ」
11:50－12:00	閉会式 挨拶:(特命委員会副委員長 or 次期開催幹事)	3階「ラヴィ」
12:00	解散	

会場(アクセス)

【会場】

KKR ホテル熱海

〒413-0005 静岡県熱海市春日町 7-39

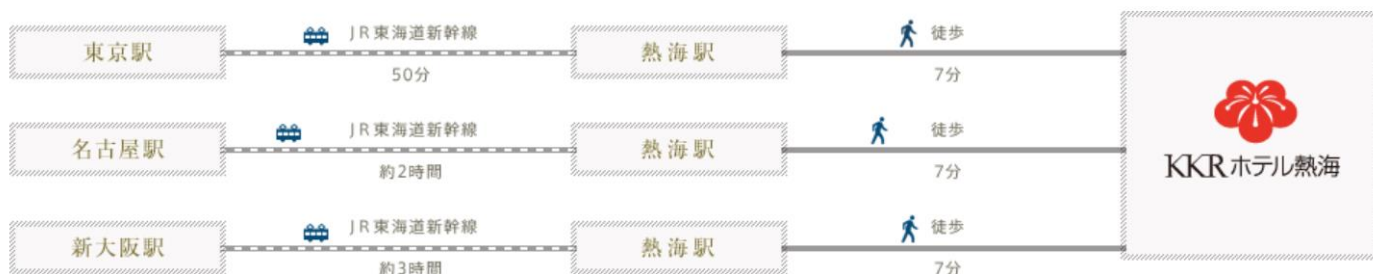
TEL 0557-85-2000

FAX 0557-85-6604

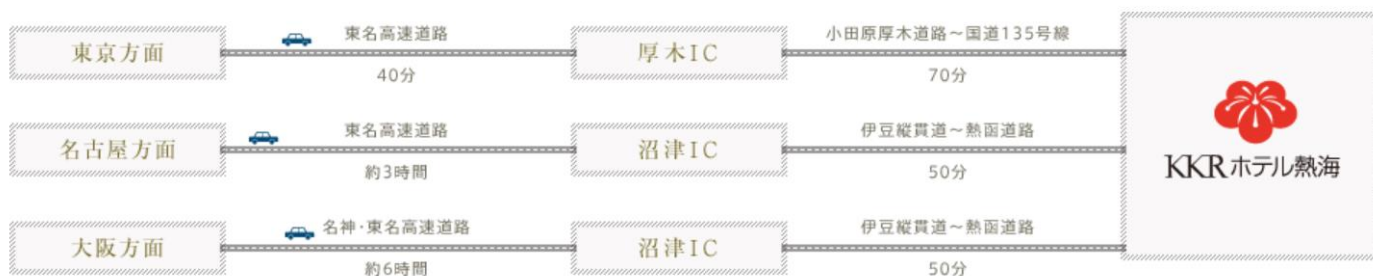


【アクセス】

電車でお越しの方 Train



お車でお越しの方 Car



無料駐車場あります（予約不要）
送迎はありません

会場(館内)

Floor Guide

フロアのご案内



1 階



2階

宴会場「春日」



→ 室内温水プール
エステルーム





3階

客室部分
ROOMS

※レストラン他各施設等の営業時間につきましては、

1階

当面の間営業中止

売店
8:00~20:30

2階
手もみ&エステ シープリーズ
13:00~21:00

マッサージはフロントまで
お申し出ください
15:00~23:00

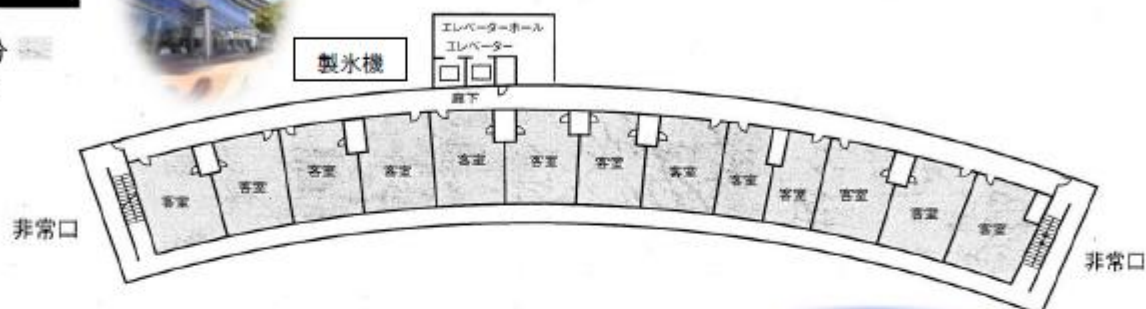
4階

客室部分
ROOMS



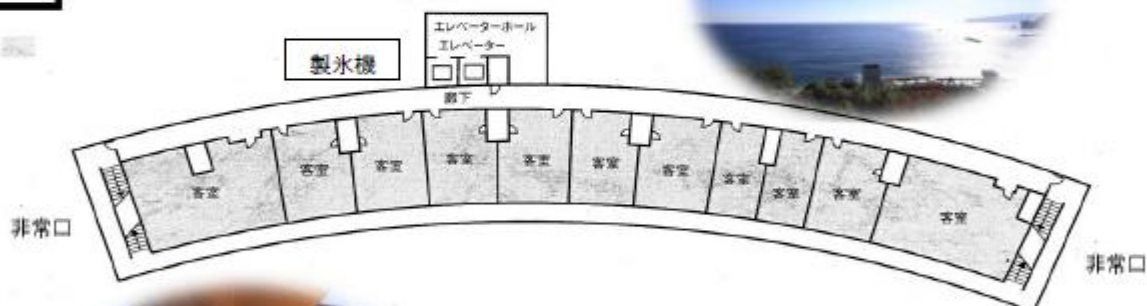
5階

客室部分
ROOMS



6階

客室部分
ROOMS



7階



～ご利用のお客様へ～

ご喫煙につきましては当館指定の場所にてお願い申し上げます。
「1階正面玄関」と「ベッドルーム横」「2階プール棟横」「4階中庭」に
喫煙所を設けております。ご協力くださいませ。



Free Wi-Fi

SSID

Free_Wi-Fi_ATAMI-KKR_Sec

パスワード

kkratami000

スマートフォン用SSID設定用QRコード

スマートフォンにてQRコードを読み取ることで無線LAN接続の設定を完了することができます。

端末機種・設定により接続できない場合があります。
お手数ですがSSIDの設定を個別に行ってください。



KKR HOTEL ATAMI

ご案内(参加者)

【参加される皆様へ】

- ・活発な質疑応答を行うために、ノーネクタイでカジュアルな服装でご参加ください。
- ・会場には電車または車でお越しください。駅からの送迎バスはございません。
- ・3階「ラヴィ」横に受付を置きます。
- ・受付にて参加章をお渡しします。
- ・プログラム・抄録集は、各自、印刷のうえご持参ください。
- ・1日目の特別講演2終了後にチェックインをしていただきますので、手荷物は会場内の手荷物置き場にお願いいたします。
- ・2日目は、チェックアウトの用意をして会場に荷物をお持ちください。
- ・会場内は禁煙です。所定の喫煙所をご利用ください。
- ・ご不明な点がございましたら、運営スタッフまでお申し付けください。

ご案内(発表者)

【口演発表者の皆様へ】

- ・発表スライドは、受付時に確認、受取をいたしますので、ご用意ください。
- ・発表時間は 7 分、質疑応答は 3 分です。
- ・次演者は次演者席に着席し、すぐに発表できるように準備をお願いいたします。
- ・発表時は演台上の PC をご自身で操作してください。
- ・質疑に関しては、座長の指示に従ってください。
- ・発表終了時および質疑応答終了時に、アラームでお知らせします。

●スライドの作成について

- ・ PowerPoint を使用してください。
- ・動作不良の可能性があるため、動画などの特殊効果や音声利用はお控えください。
- ・文字フォントは PowerPoint に設定されている標準的なフォントを推奨いたします。
(例) 日本語の場合：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝など
(例) 英語の場合：Arial, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Symbol, Times New Roman など
- ・作成したデータファイルは「大学名 演者名」(例：冠橋大学 義歯太郎) としてください。
- ・発表データは、受付時に USB メモリーにてご提出ください。

●プレゼンテーションについて

- ・PC による発表(単写)とします。
- ・Windows の PC を用意しています。Macintosh を使用される場合は、ご自身の PC をお持ちください。

●PC 本体を持ち込まれる場合

- ・接続は HDMI となります。PC 本体の外部モニター出力端子の形状をご確認いただき、必要な場合は専用の接続端子をご持参ください。万が一に備え、AC アダプターおよびバックアップ用として各種メディア(USB メモリー)にデータを保存し、ご持参ください。
- ・動画および特殊なアニメーションがある場合は、不具合が生じることがありますので、ご自身の PC をご持参ください。なお、動画データなどの参照ファイルはすべて発表される PowerPoint のファイルと同じフォルダに保存ください。
- ・スクリーンセーバー、省電力設定、ウイルスチェックならびに起動時のパスワードは、予め解除しておいてください。

思い込みを捨てよう！若手研究者と創造する未来歯科医療

講師 北海道大学歯学研究院 生体材料工学教室 教授



吉田 靖弘

略歴 1990 年 広島大学歯学部卒業
広島大学歯学部附属病院医員（歯科・研修医） 歯科補綴科
1991 年 広島大学歯学部附属病院医員 歯科補綴科
1992 年 どえ歯科医院
1993 年 広島大学歯学部研究生（歯科補綴学第一講座）
1995 年 広島大学歯学部助手（歯科理工学講座）
1996 年 博士（歯学）取得（広島大学）
ベルギー王国ルーベン・カトリック大学歯学部留学
2002 年 岡山大学大学院医歯学総合研究科助教授（生体材料学分野）
2010 年 理化学研究所客員主管研究員
2014 年 北海道大学大学院歯学研究科教授（生体材料工学教室）
2017 年 北海道大学大学院歯学研究院教授（生体材料工学教室）

【抄録】

思い込みを捨てよう。思い込みは、人の可能性を狭める。「命に直結しない歯科で、大型研究費獲得は無理」「勉強が苦手だから、研究なんて無理」、これらはすべて思い込みである。応募してもいない大型研究費を、なぜ無理と決めつけるのか。制限時間内により多くの正答を求められる入学試験と、何年もかけて一つの難問に取り組む研究は違う。研究は、思い込みを捨てて手を動かした者が勝つ。思い込みを捨てることができれば、次は研究の企画と提案書の作成である。公募されたそれぞれの事業が何を求めているかを分析して臨まなければならない。演者はこれまで、若手研究者の自由な発想と努力に助けられながら、リン酸化プルランと CPC モンモリロナイトという2つの材料開発に取り組んできた。リン酸化プルランは、生体組織接着性を有した吸収性材料で、コラーゲンやヒアルロン酸に替わる体内埋植素材として、様々な公的支援を受けて実用化を進めている。歯科で唯一、先駆け審査指定制度にも選定されている。また CPC モンモリロナイトは、殺菌剤 CPC の徐放材料であり、本材を添加した抗菌性粘膜調整材であるティッシュコンディショナーCPCを令和3年4月に全国販売した。本講演では、若手研究者と進めてきたこれらの研究開発事業について紹介するとともに、実際に採択された提案書を基に、科研費との違いなど具体例を示しながら大型研究事業の企画と提案書作成のコツを解説する。

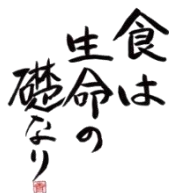
いつ食べる 何を食べるか 食を知る



講師 県立広島大学 名誉教授

加藤 秀夫

略歴 1970 年 徳島大学医学部栄養学科 卒業
1972 年 九州大学大学院農学研究科 修士課程(食糧化学工学)卒業
1977 年 大阪大学大学院医学研究科 博士課程(代謝栄養学)卒業
(医学博士)
1977 年 愛媛大学医学部 助手(医化学)
1984 年 広島女子大学(現県立広島大学) 助教授
1990 年 カリフォルニア大学デヴィス校(文部省在外研究員 1 年間)
1992 年 広島女子大学 教授
2013 年 県立広島大学(定年退職) 名誉教授
2013 年 東北女子大学 家政学部長



研究教育・社会活動

日本栄養・食糧学会 理事(3 期 6 年)
第 54 回日本栄養・食糧学会(松山) 学術総会実行委員長
日本栄養改善学会 理事(副理事長)、中国支部長
第 58 回日本栄養改善学会(広島)学術総会 会長
日本栄養改善学会 功労賞
広島県食育推進会議 会長(6 年間)
第 8 回食育推進全国大会(広島) 実行委員会会長
広島テレビ放送番組 審議委員
広島県トレーナー協会 名誉会長

【抄録】

生体リズムは体温、血圧、睡眠、運動などの生命活動や心身のコントロールを司り、健康管理や病の予防と治療にも応用されている。これまで、生体リズムの形成には光の刺激による明暗周期と規則正しい食生活が重要と考えられている。

私共は、内分泌・代謝リズムと摂食の研究から「口から食べる」ことと「いつ食べる 何を食べるか 食を知る」の重要性を浮き彫りにしてきた。

本日お話する内容は

- ① 内分泌・代謝リズムと摂食行動（口から食べることの大切さ）
- ② 時間栄養学で糖尿病と貧血の予防・改善に効果あり
- ③ トレーニング時刻とスポーツ栄養から体力を増強させる
- ④ 食材による抗酸化作用（活性酸素を消去する）に関する実験
- ⑤ 歯の健康とタバコに関する実験（主流煙と副流煙の違いから）

時間栄養学は、健康的な食生活を送るヒントがあり、上手に活用することで 1 日 3 食とその栄養効果を高めることが可能である。

■変形性顎関節症モデルマウスにおける Asporin の発現

大和田 碧

東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座

変形性顎関節症(TMJ-OA)の発症および進行メカニズムには不明な点が多い。近年、細胞外マトリックスタンパク質である Asporin の発現が変形性膝関節症の発症に伴い上昇することが報告されている。そこで我々は TMJ-OA モデルマウスにおける Asporin の発現をリアルタイム PCR および免疫組織化学染色により評価した。その結果、進行過程のいずれの段階においても Asporin が高発現することが明らかになった。

■振動型スプリントによる睡眠時ブラキシズム抑制効果の長期的持続性

前嶋康平, 高場雅之, 安部友佳, 小原大宜, 青木理紗, 奥原志織, 松山萌美, 松本貴志, 原 真央子, 馬場一美

昭和大学歯学部歯科補綴学講座歯科補綴学部門

本研究は振動刺激バイオフィードバックを利用した振動型スプリントによる睡眠時ブラキシズム (SB) 抑制効果の長期的持続性を検討することを目的とした。SB を有する成人 24 名に対し、振動刺激期間の 9 週を含む 14 週間、毎晩の振動型スプリント装着を指示した。最終的に 20 名のデータを解析した結果、振動刺激期間における SB 抑制効果は持続的であった。この結果より、振動型スプリントは、長期的な SB 管理に有用である可能性が示唆された。

■細胞接着性タンパク質固定化ジルコニアインプラントへの垂直配向コラーゲン割合の評価

高山洋彰¹⁾, 廣田正嗣²⁾, 早川 徹³⁾, 大久保力廣¹⁾

1) 鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座,

2) 鶴見大学歯学部歯科医学教育学講座,

3) 鶴見大学歯学部

本研究では、インプラント周囲炎の原因としても知られている、天然歯とインプラント体のコラーゲン線維の配向の違いを改善する目的として、ジルコニア表面と歯肉軟組織との適合性の向上を目指し、細胞接着性タンパク質であるフィブロネクチン(Fn)をトレシルクロリド法にてジルコニア表面に固定化し、ラット上顎骨大白歯の抜歯窩へのインプラント埋入実験によって、軟組織の付着状態、主にインプラント体に対しての垂直配向コラーゲンの割合について検証を行った。

■ガラスセラミックス製リファレンスマーカーを用いた改良シングルCTスキャン法で製作したサージカルガイドプレートのインプラント体埋入精度

三野卓哉¹⁾, 清水浩明²⁾, 窪木拓男²⁾, 前川賢治¹⁾

1) 大阪歯科大学歯学部 欠損歯列補綴咬合学講座,

2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野

われわれは、三次元口腔内表面形状と三次元 CT 像のマッチング精度の向上を期待し、CT マッチングテンプレートのリファレンスマーカーとしてアーチファクトがほとんど発生しないガラスセラミックス材を用いたサージカルガイドプレート (SGP) 製作法 (改良シングル CT スキャン法) を考案した。本発表では、改良シングル CT スキャン法のインプラント体埋入精度を他の SGP 製作法と比較した後向き観察研究の結果と今後の展望について報告する。

■マウス長管骨損傷モデルの治癒過程における Osteomacs のかわり

松永直也, 秋山謙太郎, 田頭龍二, 黄野頂策, 窪木拓男

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野

骨髄恒常性維持に関与する骨内マクロファージ, Osteomacs(OMs)が, 骨組織再生にどう関与するのか不明である。我々は, 週齢の異なる (5 週 vs 50 週) マウス長管骨損傷モデルの創傷治癒過程で, OMs 及び骨芽細胞の分布を経時的に比較検討した (承認番 OKU-2021377 号)。その結果, 治癒過程で OMs ならびに骨芽細胞の割合が増加したものの, 50 週齢ではその増加は少なく, 骨組織再生遅延が観察された。このことから, OMs と骨芽細胞分化に関連がある可能性が示唆された。

■深層学習による歯科診断補助システムの構築

峯 裕一

広島大学大学院医系科学研究科医療システム工学

広島大学デジタルデンティストリープロジェクト研究センター

深層学習技術の著しい進歩に伴い, 様々な分野でその実装が進んでいる。歯科医療分野においても, 深層学習は疾患のスクリーニング, 診断, 自動化, および予測等に応用可能な技術として期待されている。我々はこれまでに, 複数のイメージングモダリティを対象とした深層学習による診断補助システムの構築に取り組んできた。本発表ではその研究の中から, いくつかの概要について紹介する。

■マクロファージに着目した薬剤関連顎骨壊死の病因解明・新規治療戦略確立のための基盤構築研究

小堤涼平

長崎大学生命医科学域（歯学系）口腔インプラント学分野

薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）は口腔顎顔面領域における難治性硬軟組織疾患で、最初の報告から 20 年が経過した現在でも、病因は不明で根治的治療法や予防法も存在しない。

当講座の MRONJ に関する一連の基礎研究からマクロファージ（MΦ）の細胞挙動が病態形成機構に関与している可能性を見出してきた。そこで、当講座で開発したビスホスホネート製剤関連顎骨壊死（BRONJ）モデルマウスを用いて、MΦ の枯渇や移植が BRONJ の病態形成機構に与える影響を検索することとした。

■健常有歯顎者における習慣性開閉口運動の 3 次元的安定性

荻原久喜，重本修伺，平井真也，平林里大，小島勘太郎，佐野史香，井川知子，木原琢也，重田優子，小川 匠
鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座

習慣性閉口運動は、下顎位の診断、補綴装置の咬合調整や咬合位の決定等、補綴臨床で広く用いられている。本研究では、健常有歯顎者 27 名(53.0±14.6 歳)の習慣性閉口運動の 3 次元的収束性について検討した。従来の報告と同様に、健常者の終末位は咬頭嵌合位にほぼ一致していた。しかし、有歯顎者の終末位は咬合接触関係に影響を受ける可能性が高いため、顎運動情報だけでなく歯列形態情報とあわせて解析する必要があると思われる。

